

(別紙様式 1)

令和 4 年 2 月 1 0 日

実施計画書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住所 大分県大分市府内町 3 丁目 1 0 番 1 号
 管理機関 大分県教育委員会
 代表者名 教育長 岡本 天津男

1 管理機関

①管理機関（市区町村・都道府県）

ふりがな	おおいたけんきょういくいいんかい
管理機関名	大分県教育委員会
代表者職名	教育長
代表者職名	岡本 天津男

②管理機関（産業界）※2 団体以上ある場合は、適宜、欄を追加して記入してください。

ふりがな	おおいたえーあいてくのろじーせんたー
管理機関名	おおいた AI テクノロジーセンター
代表者職名	センター長
代表者氏名	村上 憲郎 (元 Google 副社長兼 GoogleJapan 社長)

②管理機関（産業界）※2 団体以上ある場合は、適宜、欄を追加して記入してください。

ふりがな	かぶしきかいしゃぴーすかんぱにー
管理機関名	株式会社ピースカンパニー
代表者職名	代表取締役社長
代表者氏名	矢田 照久

②管理機関（産業界）※2 団体以上ある場合は、適宜、欄を追加して記入してください。

ふりがな	ぜんこくのうぎょうきょうどうくみあいれんごうかい
管理機関名	おおいたけんほんぶ 全国農業協同組合連合会 大分県本部
代表者職名	県本部長
代表者氏名	藤田 明弘

③管理機関（学校設置者）

ふりがな	おおいたけん
管理機関名	大分県
代表者職名	知事
代表者職名	広瀬 勝貞

2 指定校名 1

学 校 名 大分県立大分東高等学校
学校長名 佐藤 秀信

指定校名 2

学 校 名 大分県立久住高原農業高等学校
学校長名 佐藤 智之

3 事業名

農山漁村を牽引する担い手確保・育成事業
～農業系高校と産業界との一体・同期化による次世代担い手育成プロジェクト～

4 事業概要

本県の農業は、高齢化などにより農業経営体数は減少する一方、経営体の法人化や生産規模の拡大が進んでいる。帰農者や新規参入による新規就農者数は増加しているが、高齢化による離農等が起こり人手不足は深刻な状況であり、新規学卒者を拡充していく必要がある。

魅力ある農山漁村づくりの核となる担い手を確保・育成するため、先進的な農業者等との連携は基より、先進的なスマート先端技術の開発及び活用による社会全体のイノベーションに取り組む IT 企業等と連携して、農林水産高校生を対象とした実践的な授業等を行う。その取組から得られた知見を他校に還元し、県農業教育全体の魅力向上、高い志をもった大分県農業のリーダーとなる人材の確保・育成を目指す。

5 学校設定教科・科目の開設、教育課程の特例の活用（□で囲むこと）

- 学校設定教科・科目を開設している
 教育課程の特例の活用している

6 事業の実施期間

契約日～ 令和 5 年 3 月 3 1 日

7 令和 4 年度の実施計画

初年度の組織運営・学習環境の整備、学習内容等の成果・課題を踏まえた事業運営を行う。大分東高等学校・久住高原農業高等学校の農場及び実習室を学習フィールドの基礎としながら、併行して連携企業（ザイナス・オートボックスセブン）及び関連する産業界（農業法人、農業関連企業、民間企業等）の施設・設備を活用した授業・実習を行い、生徒の学ぶ意欲の更なる喚起と高度な先端技術の理解促進及び活用に向けた技術習得を促進する。また、マイスター・ハイスクールCEO を中心としたマスメディア等を活用した取組紹介や成果の発表等に関する情報発信にも取り組む。

【大分東高校】

< 1 年生 >

- ①基礎講座：農業現場における IT、IoT 技術の現状、センシング技術の種類について
- ②応用講座：テクノロジーの学びと実践 [IoT (センサー)、ドローン操作、データ分析]
- ③プロジェクト研修：チームテーマの決定、テーマ研究、発表資料の作成方法など
- ④校外実習

< 2 年生：1 年次に学んだ知識・技術の活用による地域課題実証研究 >

(1) プロジェクト学習の実践

- ①肥培管理方法の検討（肥料の分析、環境データの活用）
 - 1) 育苗時の肥培管理：育苗苗の大苗・小苗による収量・品質の違い
 - 2) 果形不良の発生と肥培管理：窒素過多等による果形不良の発生状況と関係
- ②病虫害防除対策の検討（環境データの活用）
 - 1) 灰色カビ病対策
 - ・温室内外の温度や湿度など環境データと病気の発生状況との関係
 - 2) ハダニバキューム
 - ・ベンチに設置し、害虫を吸引する機器
 - ・動力噴霧器と機器導入後の病虫害発生状況の比較検討
- ③積算温度による収穫判定の検討（環境データの活用）
 - ・開花から収穫までの積算温度の判定の検討
 - ・何℃の段階で一番品質がよい状態の果実を収穫できるのかを検討

(2) 関係機関との連携：農家・農協・試験研究機関とプロジェクト学習の検証

- (3) プロジェクト研修：地域課題実証研究の検討、学習内容の決定、発表資料の作成等
- (4) インターンシップ
- (5) 科目内校外実習

【久住高原農業高校】

< 1 年生 >

- ①農業と IT の基礎を学ぶ (Society5.0 における農業最新動向)
- ②応用講座：IoT 機器の活用技術の習得
 - センサー等による農作物の栽培管理
- ③デザインシンキングを通して、アイデアの創出方法を学ぶ

< 2 年生：1 年次の学びを活かし、次の計画で取り組む >

- ①農作物の栽培：データを活用しながら農作物を育て、なぜスマート農業が重要なのかを考える
- ②商品販売の知識習得：生産した農作物の販売方法の検討、資料や公告のデザインやアプリケーションデザインについて知識を習得する
- ③他校との連携：異なる価値観をもつ集団が連携した際に発生する「新しい価値の創出」や「難しさ」について経験を積む
- ④地域の課題解決への取り組み：IoT 罨による被害対策学習
- ⑤インターンシップ

< 学校設定科目 >

- ①チャレンジ My 農場：農業経営を行っていく上で必要となる基礎的な知識・技術を実践的な活動を通して学習する
- ②AAA：農業生産を行っていく上で、必要となる基礎的な調査・分析・実験を探究的な研究を通して学習する

< 教育課程刷新に向けて >

実施期間（ 契約日 ～令和 5 年 3 月 3 1 日）											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
教育課程の把握	授業を実施しながら、改定する教科の検討								来年度に向けて検討		

< 添付資料 >

- ・ R 4 年度教育課程表

8 事業実施体制

意思決定機関の体制（マイスター・ハイスクール運営委員会）

氏名	所属・職
岡本 天津男	大分県教育委員会 教育長
矢田 照久	株式会社ピースカンパニー 代表取締役社長
石松 博文	おおいた AI テクノロジーセンター 事務局次長
江藤 稔明	株式会社ザイナス 代表取締役社長
八塚 昌明	株式会社オートバックセブソ ICT プラットフォーム推進部長
藤田 明弘	全国農業協同組合連合会大分県本部 県本部長
佐藤 章	大分県農林水産部 部長
高濱 航	大分県商工観光労働部 部長
佐藤 秀信	大分県立大分東高等学校 校長
佐藤 智之	大分県立久住高原農業高等学校 校長

事業実行機関の構成（マイスター・ハイスクール事業推進委員会）

氏名	所属・職
大田 一郎	株式会社ピースカンパニー メディア・プロデューサー
原田 美織	おおいた AI テクノロジーセンター 事務局次長
三浦 一雄	大分県教育庁高校教育課 課長
吉止 勝幸	大分県農林水産部地域農業振興課 課長
佐藤 元彦	大分県商工観光労働部先端技術挑戦課 課長
江藤 彰悟	株式会社ザイナス 取締役副社長 教育事業部事業部長

<大分県立久住高原農業高等学校>

実施期間（ 契約日 ～令和 5 年 3 月 3 1 日）												
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
年間スケジュール作成・打ち合わせ	スマート農業最新動向		応用講座の実施									
			インターシッ			データ分析・解析						
	デザインシンキング					他校との連携						
			農作物の栽培				商品販売の知識習得					
	IoT 機材の習得等								発表資料作成			
											発表・振り返り	

10 知的財産権の帰属

※いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意すること。

- () 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。
- () 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

11 再委託の有無

再委託業務の有無 有 ・ 無

12 所要経費

別添のとおり

※課税・免税事業者： 課税事業者 ・ 免税事業者 (で囲むこと)